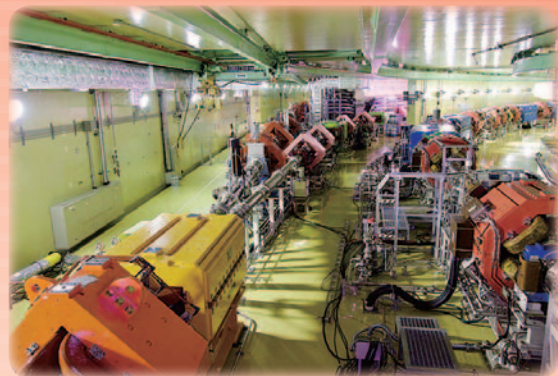




FOUNDATION FOR HIGH ENERGY  
ACCELERATOR  
SCIENCE

# FAS だより

2021.8 第 22号



公益財団法人  
高エネルギー加速器科学研究奨励会

## ■ 広報誌「FAS だより」第 22 号の発行に当って ■

- 賛助会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
日頃より、当財団に対する格別のご協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。
- 広報誌「FAS だより」も公益財団法人に移行してから第 22 号を発行することになりました。
- 奨励会では、5 月に理事の任期満了に伴う改選があり、また 6 月 11 日に新たな理事により代表理事と業務執行理事の選定が行われ、幅淳二理事が代表理事として、山口誠哉理事が業務執行理事として選定されました。
- 去年は、コロナ禍のなかで止む無く事業を取り止めたり、またオンラインによる会議等が普及したことにより助成申請がなかったことで、十分な助成ができませんでした。
- 奨励会では、賛助会員の皆様で、広報誌「FAS だより」に投稿したい高エネルギー加速器に関する記事等を募集しております。是非ご投稿ください。お待ちしております。
- 当財団では、ホームページや広報誌「FAS だより」などで加速器科学に関する知識の普及啓発活動を行っておりますが、是非ご覧いただき、より良いものにするために皆様のご意見をお寄せください。
- 賛助会員のバナー広告掲載について  
当財団のホームページ上に賛助会員様のバナー広告を掲載しております。  
掲載を希望される賛助会員様は、是非ご利用ください。(無料)

<連絡先 : info@heas.jp 又は TEL/FAX 029-879-0471>

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会  
事務局

# FAS だより 第 22 号 目次

2021 年 8 月

1. 代表理事就任挨拶 .....	1
2. 2020 年度公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会 奨励賞（西川賞・諏訪賞）受賞者 .....	2
1) 西川賞 「BNCT 用陽子線形加速器システムの実用化」 方志高氏、杉村高志氏、佐藤将晴氏 .....	2
2) 諏訪賞 「J-PARC 3 GeV シンクロトロンにおける 1 MW ビーム加速」 J-PARC 加速器ディビジョン .....	4
3. 奨励賞授与式に関する科学新聞記事 .....	5
4. 2021 年度奨励賞候補者募集 .....	6
5. 2021 年度研究助成等応募要領 .....	9
6. 高エネルギー加速器セミナー（OHO'21）開催 .....	17
7. 2020 年度事業報告および 2020 年度決算報告 .....	19
8. 2021 年度事業計画および収支予算 .....	24
9. 賛助会員一覧（2021 年 4 月 1 日現在） .....	28
10. 評議員・役員・選考委員会委員名簿（2021 年 6 月 11 日現在） .....	29

## 代表理事就任挨拶

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会  
代表理事 幅 淳二



今期より、公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会の代表理事を務めることとなりました幅淳二です。本奨励会からは、これまでも様々な形で研究コミュニティの一員として多大なサポートをいただいております。今度は微力ながらも本会への貢献ができるよう努める所存でございます。加速器科学に関連する各界の皆さまからの引き続きのご指導とご支援を賜れますよう、よろしくお願いいたします。

本奨励会の発足は 1977 年で 40 有余年の歴史は加速器学会よりさらに古いものです。当時日本の高エネルギー物理・加速器コミュニティは、いまだ世界のトップレベルには手が届かない状況でした。その後、目覚ましい勢いで我が国の加速器技術は発展を遂げ、1983 年には世界に先駆けて軌道放射光を実用的な計測プローブとして提供するフォトンファクトリー（PF）の稼働が開始されました。さらに 1986 年には、電子陽電子衝突型加速器 TRISTAN で、超伝導加速空洞の本格活用により当時世界最高の衝突エネルギーを達成し、日本の高エネルギー加速器・物理学は名実ともに世界のトップレベルに並びました。さらにその後、そこで培われた技術、施設、そして、育成された人材により 1999 年から運転が開始された B ファクトリーでは、長年の師匠格であった米国 SLAC 研究所と、対等のライバルとして性能を競い合い、数々の高輝度電子加速器技術のブレイクスルーを生み出し、ルミノシティ（衝突輝度）の世界記録を続々と書き換えました。この成果が Belle 実験による小林益川理論の最終検証を可能とし、両博士にノーベル賞をもたらしたことはよく知られております。

また本奨励会発足当時、わが国初の「高エネルギー加速器」であった 12 GeV 陽子シンクロトロンは、2009 年東海村 J-PARC として生まれ変わり、いまや中性子源である 3 GeV リング、ニュートリノ源である 30 GeV リングとともに、パルス当たりの陽子数において世界最高という、大強度量子ビーム源の国際研究拠点となっております。

このように本奨励会の歴史は、まさに日本の加速器科学が世界のトップレベルに踊り出した歴史そのものであり、奨励会の存在がいかに大きなものであったかを如実に示しております。こうした世界拠点にふさわしい加速器を保持することで、わが国の基礎科学は世界中の研究者が集結する場となりました。

残念ながらかつて我が国が世界の拠点として誇ってきた多くの分野においては、近年著しい地位の低下が指摘されております。こうした中で、いまだ世界拠点として優位にある加速器関連分野にはかつてなく重要な意義があり、これを絶やすことなくむしろ次世代のイノベーションを我が国の主導で進めるうえでの原動力とすることが期待されます。このためにも、加速器科学に関連する産・学・官の研究者・技術者の密接な連携がこれまで以上に求められるところであり、本奨励会が、そこで果たすべき役割は極めて大きいと考えます。産業界、アカデミア、行政等、加速器科学関連分野の皆様より、高エネルギー加速器科学研究奨励会へのいっそうのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021 年 7 月吉日

# 公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会 奨励賞(西川賞・小柴賞・諏訪賞・熊谷賞)受賞者について (2020年度)

2020年度の公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会 奨励賞(西川賞・小柴賞・諏訪賞・熊谷賞)は、2021年3月12日に開催された選考委員会及び2021年3月26日に開催された理事会において審議の結果、受賞者は次の通り決定いたしました。

今回は小柴賞および熊谷賞の受賞はありませんでした。

なお、受賞者に対する奨励賞授与式は、2021年5月27日(木)、高エネルギー加速器研究機構職員会館において行いました。

## 1. 西川賞

### 1) 受賞者氏名および職名等

方 志高 氏 ・ 高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 准教授

杉村 高志 氏 ・ 高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 准教授

佐藤 将春 氏 ・ 高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 助教

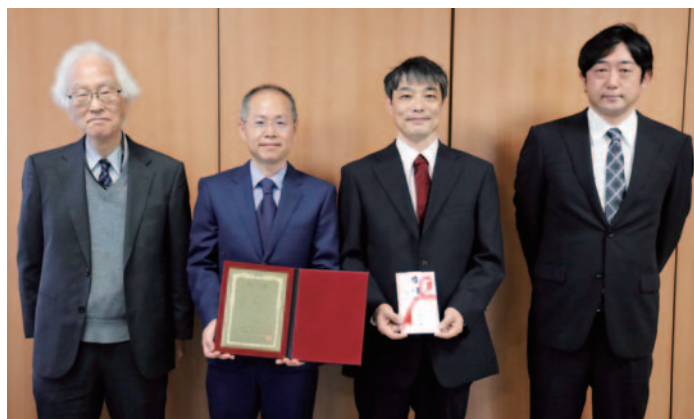
(所属機関、職名は推薦時点)

### 2) 研究テーマ 「BNCT用陽子線形加速器システムの実用化」

### 3) 受賞理由

本研究課題は、ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)のために開発が進められている8 MeV陽子線形加速器システムに関するものである。この線形加速器はRFQとDTLの2つの加速空洞を単一のクライストロンで駆動する方式をとっており、Duty Factorが高いところに大きな特徴がある。さて、BNCTに応用するためには、大強度ビームの安定加速が必須の条件である。しかしながら、異なるQ値をもち、温度上昇の影響を受けやすい高Dutyの空洞2つを、単一のRF源で安定に駆動することは非常に難しく、特に当初は電圧トリップからの復帰には30分もの時間がかかっていた。そこで候補者らはまず、空洞の冷却水路を改良して、空洞の温度と共振周波数の関係を予測できるようにした。さらに、デジタルローレベル制御系を独自に開発して、最終的な加速周波数ではなく空洞の共振周波数でRFを立ち上げてから、空洞の冷却水温、DTLのチューナー、およびRF電力を連動させ、温度平衡に到達する時間を大幅に短縮した。また、空洞の電圧トリップから速やかに電力パルスを再投入するシーケンスを実装した。これらの工夫により、トリップからの復帰時間を5分以下に短縮することに成功した。現在では平均電流1.4 mA(ビームパワー11 kW)を2時間安定供給するという、医療に適用可能な性能が達成されている。また、開発された手法の一部はJ-PARCリニアックのRF制御にも採用され、MLFの稼働率向上に寄与している。以上のように、候補者らの研究は独自の発想に基づいており、その手法と結果は国際的な論文誌で論文発表がされているほか、

特許出願もなされている。また、すでに加速器学会賞を受賞するなど、評価も高い。すなわち、西川賞にふさわしい研究であると判断された。



西川賞受賞者



2020 年度奨励賞受賞者

## 2. 誼訪賞

### 1) 受賞者氏名および職名等

J-PARC センター加速器ディビジョン

代表

- 小関 忠 氏 ・ J-PARC センター副センター長
- 長谷川和男 氏 ・ 前 J-PARC センター 加速器ディビジョン ディビジョン長  
(現 量子科学技術研究開発機構核融合炉材料研究開発部次長)
- 金正 倫計 氏 ・ J-PARC センター 加速器ディビジョン ディビジョン長  
(所属機関、職名は推薦時点)

### 2) 研究テーマ 「J-PARC 3 GeV シンクロトロンにおける 1 MW ビーム加速」

### 3) 受賞理由

J-PARC センター加速器ディビジョンは、J-PARC 3 GeV シンクロトロン (RCS) のビーム出力を 1MW で 36 時間運転することに成功した。

この成果は、イオン源や RFQ の開発などによる電流の増加、LINAC の新たな空洞の開発による 400 MeV への加速とそれに伴うビームロスの低減、RCS の精密なシミュレーションに基づく「ペイント入射」による空間電荷効果の低減、フィードフォワードの手法を用いたビームローディング補償、正確なパルスを作るビーム入射用パルス電源の開発など、加速器全体の様々な新たな開発と改良に依るものである。

これらの成果は国際会議の報告だけではなく、Physical Review Accelerators and Beams の full paper にもまとめられている。

RCS のビーム出力が 1 MW を越えることは、Hyper Kamiokande の実験に必要な条件の一つである。

したがって、この成果を出した J-PARC センター加速器ディビジョンは、「加速器科学の発展上、長期にわたる貢献など特に顕著な業績があった」という誼訪賞の条件を十分に満たす。



誼訪賞受賞者

# 高エネルギー加速器科学研究奨励会 20年度奨励賞決定、授与式開催 西川賞・諏訪賞の2件3人1グループ

(公財)高エネルギー加速器科学研究奨励会は2020年度奨励賞を決定し、5月27日に大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(KERK)で授与式を行った。同奨励賞は西川賞・小柴賞・諏訪賞、熊谷賞の4賞で構成されているが、今年の奨励賞授与は西川賞と諏訪賞の2件で、受賞者は3人と1グループだった。

今回授与した西川賞は、加速器と加速器利用に関する実験装置の研究で、獨創性に優れ、かつ論文発表が国際的にも評価の高い業績をあげた、原則50歳以下(応募締め切り時)の単数または複数の研究者・技術者に贈る賞である。

一方の諏訪賞は、加速器科学の発展上、長期にわたる貢献など特に顕著な業績があったと認められる単数または複数の研究者・技術者・研究グループに贈る賞



授与式参加者による記念撮影

執行理事があいさつした。受賞者および研究業績概要は以下のとおり(所属機関・職名は申請時点)。

【西川賞】  
 ◇方志高氏・52歳・KEK加速器研究施設准教授(現・同教授) ◇杉村高志氏・51歳・同准教授 ◇佐藤将春氏・42歳・同助教(現講師)

▽研究テーマ「BNC T用陽子線形加速器システムの実用化」

これは、ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)のためCT)のために開発が進められている8 MeV陽子線形加速器システムの開発に関する研究課題である。この線形

加速器はRFQとDTLの2つの加速空洞を単一クラフトロンで駆動する方式であり、Duty Factorが高いのが大きな特徴である。

BNCTへの応用は、大強度ビームの安定加速が必須条件であるが、異なるQ値をもち温度上昇の影響を受けやすい高Dutyの空洞2つを、単一のRF源で安定駆動するのは非常に難しく、当初は電圧トリップからの復帰に30分もかかっていた。

受賞者らは、空洞の冷却水路を改良して空洞の温度と共振周波数の関係を予測できるようにし、さらにデジタルローレベル制御系を独自に開発。空洞の共振周波数でRFを立ち上げながら、空洞の冷却水温、DTLのチューナー、RF電力を連動させるなどして、温度平衡に到達する時間を大幅に短縮した。

これらの工夫により、トリップからの復帰時間を5分以下に短縮することに成功。現在では平均電流1.4 mA(ビームパワー11 kW)を2時間安定供給するという、医療適用可能な性能が達成された。

【諏訪賞】  
 J-PARCセンター加速器アイビジョン代表(歴代アイビジョン長) ◇小関志氏・58歳・J-PARCセンター副センター長(現・KEK加速器研究所施設長) ◇長谷川和男氏・59歳・日本原子力研究開発機構主任研究員(現・量子科学技術研究開発機構六ヶ所核融合研究所核融合炉材料研究開発部長) ◇金正倫計氏・55歳・J-PARCセンター加速器アイビジョン長

▽研究テーマ「J-PARC 3 GeVシンクロトロンにおけるIMWビーム加速」

J-PARCセンター加速器アイビジョンは、J-PARC 3 GeVシンクロトロン(RCS)のビーム出力をIMWで36時間運転することに成功した。

この成果は、イオン源やRFQの開発などによる電流の増加、LINACの新たな空洞の開発による400 MeVへの加速と、それに伴うビームロスの低減、RCSの精密なシミュレーションに基づく「ペイント入射」による空間電荷効果の低減、フィードフォワードの手法を用いたビームロスの低減、正確なパルスを作るビーム入射パルス電源の開発など、加速器全体のさまざまな新たな開発と改良によるものである。

これらの成果は国際会議の報告だけではなく、Physical Review Accelerators and BeamsのFull paperにもまとめられている。



# 2021 年度公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会 奨励賞候補者募集要綱

## 1. 趣 旨

加速器ならびに加速器利用に関する研究において、特に優れた業績をおさめた研究者・技術者に次の4賞で構成される奨励賞を授与し、もって加速器科学の発展に資することを目的とする。

## 2. 各賞の応募条件

- 西川賞 : 高エネルギー加速器並びに加速器利用に関する実験装置の研究において、独創性に優れ、国際的にも評価の高い業績をあげた、単数または複数の研究者及び技術者
- 小柴賞 : 素粒子分野などの基礎科学における測定器技術の開発研究において、独創性に優れ、国際的にも評価の高い業績を上げた、単数または複数の研究者及び技術者
- 諏訪賞 : 加速器科学の発展上、長期にわたる貢献など特に顕著な業績があったと認められる単数または複数の研究者・技術者・研究グループ
- 熊谷賞 : 研究開発、施設建設など長年の活動を通じて、加速器や加速器装置への顕著な貢献が認められる企業の単数または複数の加速器関係者

3. 表彰件数 4賞合わせて5件程度

4. 賞の内容 賞金(各賞30万円)及び表彰盾(各課題毎)を授与する。

5. 選考方法 推薦のあった者について公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会選考委員会で選考し、理事会において決定する。

6. 選 考 2022年3月上旬

7. 提出書類 (1) 推薦書(当公益財団法人のホームページに掲載の様式による)  
(2) 選考資料 研究業績に関する発表論文(3編以内)のコピー(各2部)

8. 受付期間 2021年7月1日(木)～2022年2月25日(金)

## 9. 書類の提出ならびに問合せ先

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会事務局  
〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 高エネルギー加速器研究機構内  
TEL・FAX : 029-879-0471  
Eメール : info@heas.jp  
ホームページ : <http://www.heas.jp/>

受付番号	
受付年月日	年 月 日

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会  
奨励賞候補者推薦書

候補者	氏名（ふりがな）	所属・職
研究課題名	(和文)	
	(英文)	
賞の種類 <sup>(*)</sup>	<input type="checkbox"/> 西川賞 <input type="checkbox"/> 小柴賞 <input type="checkbox"/> 諏訪賞 <input type="checkbox"/> 熊谷賞	
推薦要旨		
<p>年度 公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会 奨励賞候補者として、上記の者を推薦します。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会 選考委員会委員長 殿</p> <p>推薦者の所属機関</p> <p style="text-align: right;">推薦者名 印</p>		

(\*) 授与する賞の種類については応募内容に応じて選考委員会が変更する場合があります。

候補者略歴	生年月日（西暦）	年	月	日
研究業績及び推薦理由				

# 2021 年度公益財団法人高エネルギー加速器科学研究所奨励会 研究助成等応募要領

## 1. 趣 旨

本公益財団法人は、高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関し、優れた業績を有する国内及び国外の研究者、技術者に対する研究助成を行う。

## 2. 助成の対象

- 1) : 加速器の原理、物理、技術に関する研究
- 2) : 加速器を用いる研究のための測定技術や装置の開発研究
- 3) : 高エネルギー加速器を用いる研究（但し共同利用実験等は除く）
- 4) : 我国の加速器科学振興のために特に必要と認められる研究

## 3. 助成内容

### 1) 研究助成

- (1) 高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関し、優れた業績を有する国内、国外の研究者等に対する国内旅費等の助成
- (2) 高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関する国内の研究機関に対する国内旅費等の助成

### 2) 国際交流助成

- (1) 高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関し、優れた業績を有する国内の研究者等国外に派遣する場合に必要なとする旅費等の助成
- (2) 高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関し、優れた業績を有する国外の研究者等を招聘する場合に必要なとする旅費等の助成

### 3) 国際会議等助成

国内において開催する高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関する国際会議・国際研究集会等で、高エネルギー加速器科学研究所が主催する場合に必要な国内旅費及び会場費等の助成

## 4. 助成件数

年間それぞれ5件程度とする。

## 5. 申込時期

随時、但し助成金使用予定の1ヶ月以上前  
ただし、受付期間は、原則として2021年4月から12月末日までとする。

## 6. 申込要領

下記書類を当公益財団法人宛に提出すること。（メール・PDF申請可）

### (1) 当公益財団法人指定の研究助成申請書等に必要事項を記入した書類

様式1：研究助成申請書

様式2：国際交流助成申請書（研究発表等で国際会議等に参加する場合）

様式3：国際会議等助成申請書（国際会議等を主催する場合）

- (2) 国際交流助成・国際会議等助成の場合は会議開催通知、プログラム、招聘状、会議での役割分担等、研究の重要性が判断できるもの
- (3) 旅費計算書（航空運賃見積書・領収書等を添付）
- (4) その他必要と思われる書類

## 7. 決定通知

当公益財団法人選考委員会の審査を経て、申請後1ヶ月以内に助成決定通知書を申請者に送付する。

8. 助成金の支払い 申請者の指定口座へ振込みとする。

9. 報告の義務

助成を受けた者は、業務終了後、1ヶ月以内に研究等の「研究成果報告書（様式4）」及び「助成金使用実績内訳書（様式5）」を提出すること。

10. 申込書の請求、提出ならびに問合せ

〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 高エネルギー加速器研究機構内  
公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会  
TEL・FAX 029-879-0471 E-mail : info@heas.jp

## 研究助成申請書

年 月 日

公益財団法人  
高エネルギー加速器科学研究奨励会  
代表理事 幅 淳二 殿

申請者氏名 \_\_\_\_\_

所属機関 \_\_\_\_\_

所属名 \_\_\_\_\_

下記の研究課題に対する助成を申請します。

記

研究課題（内容が把握できるよう表現してください）		
実施期間 年 月 日 ～ 年 月 日		
実施場所		
助成申請者に関する事項	申請者氏名	
	最終学校名 卒業年月	年 月
	学位名・学位授与大学名 取得年月日	年 月
	現在の研究分野	
	所属機関・職名	
	連絡先住所・ 電話（内線）	住所 Tel. E-mail
※共同研究の場合は、氏名欄は代表者		
助成申請額		

申請理由

申請額算出内訳（使途概要）

上記申請を適切と認めます。

年 月 日

所属機関

所属名

所属長職・氏名

- ※ 申請時に見積書・申請額算出内訳（使途概要）を記入すること。
- ※ 研究終了後1ヶ月以内に別紙「研究助成報告書（様式5）」及び「助成金使用実績内訳書（様式6）」を記入の上、当公益財団法人事務局まで提出すること。

## 国際交流助成申請書

年 月 日

公益財団法人  
高エネルギー加速器科学研究奨励会  
代表理事 幅 淳二 殿

申請者氏名 \_\_\_\_\_

所属機関 \_\_\_\_\_

所属名 \_\_\_\_\_

下記の国際交流に対する助成を申請します

記

研究課題（内容が把握できるよう表現してください）		
実施期間 年 月 日 ～ 年 月 日		
実施場所（開催国・都市・機関等）		
助成申請者に関する事項	申請者氏名	
	最終学校名 卒業年月	年 月
	学位名・学位授与大学名 取得年月日	年 月
	現在の研究分野	
	所属機関・職名	
	連絡先住所・ 電話（内線）	住所 Tel. E-mail
※共同研究の場合は、氏名欄は代表者		
助成申請額		



申 請 理 由
申請額算出内訳（使途概要）
<p>上記申請を適切と認めます。</p> <p style="text-align: center;">年      月      日</p> <p>所属機関</p> <p>所 属 名</p> <p>所属長職・氏名 _____</p>

- ※ 申請時に見積書・申請額算出内訳（使途概要）を記入すること。
- ※ 研究終了後1ヶ月以内に別紙「研究助成報告書（様式5）」及び「助成金使用実績内訳書（様式6）」を記入の上、当公益財団法人事務局まで提出すること。

## 国際会議等助成申請書

年 月 日

公益財団法人

高エネルギー加速器科学研究奨励会

代表理事 幅 淳二 殿

申請者所属・職名

申請者氏名

主催機関名

主催機関代表者

申請者と主催機関との関係

下記の国際会議等に対する助成を申請します。

## 記

会議の名称	和文名
	英語名
会 期	年 月 日から 月 日 日間
開催場所	(都市・機関等)
参加者(国別)	
参加人員	人
助成申請額	円
連絡先住所・ 電話(内線)	住所 Tel. E-mail 振込先

申 請 理 由

申請額算出内訳（使途概要）

上記申請を適切と認めます。

年 月 日

所属機関

所属名

所属長職・氏名

- ※ 申請時に会議・集会の概要を添付すること。
- ※ 申請時に見積書・申請額算出内訳（使途概要）を記入すること。
- ※ 研究終了後1ヶ月以内に別紙「研究助成報告書（様式5）」及び「助成金使用実績内訳書（様式6）」を記入の上、当公益財団法人事務局まで提出すること。

# 高エネルギー加速器セミナー

## OHO'21



次世代大型加速器  
国際リニアコライダー  
- ILC -

©Rey, Hori

2021 9.7 Tue. ~ 9.10 Fri.

開催方法  オンラインによるリモート方式

### 参加者募集

詳しくは WEB をご覧ください  
<http://www.heas.jp>  
<http://accwww2.kek.jp/oho/>

### 講義に関するお問い合わせ

増澤 美佳  
高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設  
E-mail : [oho21@ml.post.kek.jp](mailto:oho21@ml.post.kek.jp)

### 共催

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会  
〒305-0801 つくば市大穂 1-1 高エネルギー加速器研究機構内  
TEL / FAX : 029-879-0471 E-mail : [info@heas.jp](mailto:info@heas.jp)

KEK : 高エネルギー加速器研究機構  
総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科



高エネルギー加速器セミナー OHO'21 は、オンラインによるリモート方式により開催されます。

<http://www.heas.jp/index.shtml>

<http://accwww2.kek.jp/ofo/ofo21/index.html>

## OHO'21 「次世代大型加速器 国際リニアコライダー - ILC -」

	9月7日(火)	9月8日(水)	9月9日(木)	9月10日(金)
09:00 - 09:50	受付 開会の挨拶	4-1 電子・陽電子入射器 広島大学 栗木 雅夫	7-1 超伝導空洞 片山 領	10-1 超伝導空洞の表面処理：電解研磨 後藤 剛喜
09:50 - 10:00	休憩			
10:00 - 10:50	1-1 ILC の物理と測定器 九州大学 末原 大幹	4-2 電子・陽電子入射器 広島大学 栗木 雅夫	7-2 超伝導空洞 片山 領	10-2 超伝導空洞の表面処理：電解研磨 後藤 剛喜
10:50 - 11:00	休憩			
11:00 - 11:50	1-2 ILC の物理と測定器 九州大学 末原 大幹	5-1 ナノビーム技術 倉田 正和	8-1 超伝導加速空洞の製造 道前 武	11-1 Introduction to LLRF Mathieu Omet
11:50 - 13:00	昼食休憩			
13:00 - 13:50	2-1 ILC 加速器 久保 淨	5-2 ナノビーム技術 倉田 正和	8-2 超伝導加速空洞の製造 道前 武	11-2 Introduction to LLRF Mathieu Omet
13:50 - 14:00	休憩			閉会の挨拶
14:00 - 14:50	2-2 ILC 加速器 久保 淨	6-1 ILC 施設 照沼 信浩	9-1 空洞材料シミュレーション、材料評価 Ashish Kumar	
14:50 - 15:00	休憩			
15:00 - 15:50	3 ビームダンプ 森川 祐	6-2 ILC 施設 照沼 信浩	9-2 空洞材料シミュレーション、材料評価 Ashish Kumar	

# 2020年度 事業報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

## 1. 加速器科学の研究に対する助成

応募無し（新型コロナウイルスの感染拡大の影響により研究打合せ等がリモート等により行われるようになったため）

## 2. 国際交流に対する助成

応募無し（新型コロナウイルスの感染拡大の影響により海外への出張や海外からの研究者の招へい等ができなくなったため）

## 3. 国際会議、学術講演会等の開催助成

応募無し（新型コロナウイルスの感染拡大の影響により国際会議等がリモート等により行われるようになったため）

## 4. 加速器科学インターンシップへの助成

No	実施期間	実習テーマ	実習者氏名	助成先	備考
1	2020.10.18～31	電子陽電子線形加速器におけるビーム計測実習	加藤大典（福井大学4年）	高エネルギー加速器研究機構	

## 5. セミナー・講演会等の開催

No	実施期間	実施項目	開催機関・参加者等	備考	
1	2020年9月8日～11日	研修会 高エネルギー加速器 セミナー OHO'20 の開催 (テーマ「ビーム診断の基礎」)  開催方式：リモート方式による	高エネルギー加速器研究機構との共催	参加者 学生、企業関係者他 171名	参加費 無料 テキスト代 学生 ・賛助会員無料 ・一般企業、研究所等 2,000円
2		特別講演会 中止			
3		「科学と音楽の饗宴」 中止			

## 6. 研究成果の褒賞

No	賞名称	受賞者氏名	所属機関	職	研究テーマ
1	西川賞	方 志高 (52 歳) 杉村 高志 (51 歳) 佐藤 将晴 (42 歳)	高エネルギー加速器 研究機構加速器研究 施設	准教授 准教授 助 教	BNCT 用陽子線形加速 器システムの実用化
2	諏訪賞	小関 忠 (58 歳) 長谷川和男 (59 歳)  金正 倫計 (55 歳)	J-PARC センター 日本原子力研究開発 機構 (現量子科学技 術研究開発機構) J-PARC センター	副センター長 主任研究員 (次長)  加速器ディビ ジョン長	J-PARC 3 GeV シンク ロトロンにおける 1 MW ビーム加速

※職名は、申請時点での職名である。

## 7. 加速器科学に関する出版物等の頒布

No	出版物等の名称	発行
1	高エネルギー加速器セミナーOHO '20 テキスト	11 月末発行済
2	HIGH ENERGY NEWS	4 月、7 月、12 月、3 月発行済
3	FASだより (公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会 広報誌)	第 20 号 7 月に発行済 第 21 号 3 月に発行済

## 8. 理事会の開催

回	期日・時間	開催場所	議案及び報告事項
第 25 回 決議の省略 の方法による	理事会の決議が あったものとみな された日 2020 年 4 月 24 日	—	議 事 1) 決議事項 第 1 号議案 「監事選任のための候補者推薦」の件 第 2 号議案 「2019 年度事業報告書（案）承認」の件 事業報告附属明細書（案）を含む 第 3 号議案 「2019 年度貸借対照表（案）、損益計算書（案）、 損益計算書内訳表（案）及び財産目録（案） 承認」の件 監査報告書含む 第 4 号議案 「第 21 回定時評議員会の招集」に関する件 2) 報告事項 (1) 公益財団法人の各機関の役割と責任について (2) 奨励書授与式に関する科学新聞記事について (3) 2020 年度奨励賞候補者募集要項について (4) 加速器奨励会賛助会員一覧について (5) 評議員選定委員会委員名簿等について
第 26 回	2020 年 10 月 12 日	Web 会議	議 事 1) 決議事項 第 1 号議案 「定款の一部変更」の件 第 2 号議案 「評議員会運営規則の一部改正」の件 第 3 号議案 「理事会運営規則の一部改正」の件 第 4 号議案 「役員等費用弁償規程（案）制定」の件 第 5 号議案 「旅費支給規程の一部改正」の件 第 6 号議案 特別講演会について 2) 報告事項 (1) 2020 年度の事業報告（中間報告）について (2) 加速器セミナー OHO'20 の報告について (3) 賛助会員の現況について
第 27 回 決議の省略 の方法による	理事会の決議が あったものとみな された日 2020 年 12 月 2 日	—	議 事 1) 決議事項 議案 「第 22 回臨時評議員会の招集」に関する件 上坂理事の辞任に伴う後任理事の選任を行うため
第 28 回	2021 年 1 月 27 日	Web 会議	議 事 1) 決議事項 第 1 号議案 「2021 年度事業計画書（案）」の件 第 2 号議案 「2021 年度収支予算書（案）」の件 第 3 号議案 「旅費支給規程の一部改正」の件 第 4 号議案 「第 23 回評議員会の招集」に関する件 2) 報告事項 (1) 2020 年度の事業報告（中間報告）について (2) 2020 年度予算の執行状況について
第 29 回 決議の省略 の方法による	理事会の決議が あったものとみな された日 2021 年 3 月 26 日	—	議事 2020 年度奨励賞受賞者選考の件



## 9. 評議員会の開催

回	期日・時間	開催場所	議案
第21回 決議の省略の方法による	評議員会の決議があったものとみなされた日 2020年5月22日	—	<p>1) 議事</p> <p>第1号議案 「監事選任」の件</p> <p>第2号議案 「2019年度事業報告書(案)承認」の件 事業報告附属明細書(案)を含む</p> <p>第3号議案 「2019年度貸借対照表(案)、損益計算書(案)、損益計算書内訳表(案)及び財産目録(案)承認」の件 監査報告書含む</p> <p>2) 報告事項</p> <p>(1) 2020年度第25回理事会議事録</p> <p>(2) 奨励賞授与式に関する科学新聞記事について</p> <p>(3) 2020年度奨励賞候補者募集要項について</p> <p>(4) 賛助会員一覧について</p>
第22回 決議の省略の方法による	評議員会の決議があったものとみなされた日 2020年12月11日	—	<p>1) 議事</p> <p>議案 「理事辞任に伴う後任理事の選任」の件 長谷川和男氏(新任)を理事として選任すること</p>
第23回	2021年2月22日	Web会議	<p>議事</p> <p>1) 決議事項</p> <p>第1号議案 「2021年度事業計画書(案)承認」の件</p> <p>第2号議案 「2021年度収支予算書(案)、資金調達及び設備投資の見込みについての承認」の件</p> <p>第3号議案 「定款の一部変更」の件</p> <p>第4号議案 「評議員会運営規則の一部改正」の件</p> <p>第5号議案 「役員等費用弁償規程の制定」の件</p> <p>第6号議案 「旅費支給規程の一部改正」の件</p> <p>2) 報告事項</p> <p>(1) 2020年度の事業報告(中間報告)について</p> <p>(2) 2020年度収支決算見込みについて</p>

## 10. 2020年度 収支決算監査

2021年4月19日 木村監事、古屋監事による監査受検  
別添 監査報告書のとおり

# 2020年度 損益計算書（正味財産増減計算書）

自：2020年4月1日 至：2021年3月31日

（単位：円）

科 目		当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	基本財産受取利息	669,449	629,377	40,072
特定資産運用益	特定資産受取利息	4,470	4,468	2
受取会費	賛助会員受取会費	4,400,000	4,450,000	△ 50,000
事業収益	講習会等事業益	120,084	164,974	△ 44,890
受取寄附金	会議・助成・寄附金	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
雑収益	預金受取利息	26	93	△ 67
	その他（返納金等）	0	5,240	△ 5,240
経常収益計		6,194,029	6,754,152	△ 560,123
(2) 経常費用				
①事業費	研究助成費	0	91,620	△ 91,620
	国際交流助成費	0	0	0
	国際会議助成費	0	0	0
	その他の助成	0	0	0
	講習会開催費	378,520	1,069,690	△ 691,170
	褒賞費	600,000	1,544,546	△ 944,546
	出版物頒布費	346,555	329,156	17,399
	諸謝金	0	0	0
	給料手当	1,370,808	1,402,942	△ 32,134
	旅費交通費	106,440	359,400	△ 252,960
	通信運搬費	40,992	26,334	14,658
	消耗品費	44,184	0	44,184
	賃借料	79,805	85,320	△ 5,515
	光熱水料費	23,723	22,081	1,642
	雑費	25,613	36,286	△ 10,673
事業費合計		3,016,640	4,967,375	△ 1,950,735
②管理費	給料手当	1,370,807	1,402,943	△ 32,136
	会議費	0	104,225	△ 104,225
	旅費交通費	106,440	292,400	△ 185,960
	通信運搬費	75,263	57,417	17,846
	什器備品費	76,340	17,604	58,736
	消耗品費	87,701	158,290	△ 70,589
	賃借料	79,805	86,895	△ 7,090
	諸謝金	55,000	105	54,895
	光熱水料費	23,723	22,488	1,235
	雑費	35,440	14,358	21,082
管理費合計		1,910,519	2,156,725	△ 246,206
経常費用計		4,927,159	7,124,100	△ 2,196,941
当期経常増減額		1,266,870	△ 369,948	1,636,818
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		0	0	0
(2) 経常外費用		0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		1,266,870	△ 369,948	1,636,818
一般正味財産期首残高		125,052,107	125,422,055	△ 369,948
一般正味財産期末残高		126,318,977	125,052,107	1,266,870
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等		0	0	0
III. 正味財産期末残高		126,318,977	125,052,107	1,266,870

# 2021 年度 事業計画書

自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会は、高エネルギー加速器科学及び関連技術の研究を助成し、加速器科学の振興を図り、もつて我が国と海外との学術研究の推進を図ることを目的として次の事業を行う。

## 1. 研究に対する助成事業

### (1) 助成対象

高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関し、優れた業績を有する国内及び海外の研究者・技術者に対する研究助成を行う。

- ①加速器の原理・物理・技術に関する研究
- ②加速器を用いた研究のための測定技術や装置の開発研究
- ③高エネルギー加速器を用いた研究
- ④我が国及び海外の加速器科学の振興のために特に必要と思われる研究
- ⑤上記研究に必要な国内旅費

### (2) 助成件数 …………… 5 件程度

### (3) 選定方法

選考委員会において申請書の審査を行い決定する。

### (4) 報告の義務

助成を受けた者は研究成果の報告書を提出する。

### (5) 募集期間

2021 年 4 月～ 12 月末日

## 2. 国際交流に対する助成事業

### (1) 助成対象

①高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関し、優れた業績を有する国内の研究者及び技術者を海外に派遣する場合に助成する。

②高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関し、優れた業績を有する海外の研究者及び技術者を招聘する場合に助成する。

### (2) 助成件数 …………… 5 件程度

### (3) 選定方法

選考委員会において申請書の審査を行い決定する。

### (4) 報告の義務

助成を受けた者は研究成果の報告書を提出する。

### (5) 募集期間

2021 年 4 月～ 12 月末日

## 3. 国際会議・国際研究集会等に対する助成事業

### (1) 助成対象

国内において開催される高エネルギー加速器科学及びその関連技術に関する国際会議・国際

研究集会等で高エネルギー加速器科学研究機関が主催する場合に助成する。

上記会議等に必要となる国内旅費及び会場費等の費用

(2) 助成件数 …………… 5 件程度

(3) 選定方法

選考委員会において申請書の審査を行い決定する。

(4) 報告の義務

助成を受けた者は研究成果の報告書を提出する。

(5) 募集期間

2021 年 4 月～ 12 月末日

#### 4. 研修会等の開催事業

(1) 高エネルギー加速器セミナー (OHO' 21) の開催

(高エネルギー加速器研究機構及び総合研究大学院大学との共催)

- ・開催テーマ : 未定
- ・開催日 (予定) : 2021 年 9 月上旬
- ・会場 (予定) : 高エネルギー加速器研究機構 3 号館セミナーホール  
または、オンラインによるリモート方式
- ・参加費 (予定) : 賛助会員、大学生・大学院生・・・無料  
(テキスト代) 研究機関職員 2,000 円、一般企業職員 5,000 円
- ・募集人員 (予定) : 80 人～ 150 人
- ・募集期間 (予定) : 2021 年 6 月末日～ 9 月上旬

(2) 施設見学会の実施

- ・対象者 : 賛助会員
- ・開催日 (予定) : 2021 年 8 月～ 9 月
- ・会場 : 高エネルギー加速器研究機構
- ・参加費 : 無料
- ・募集人員 (予定) : 20 名
- ・募集期間 (予定) : 2021 年 5 月～ 7 月

(3) 高エネルギー加速器科学インターンシップへの助成

高エネルギー加速器研究機構は、幾多の優れた学術的成果を生み出し、今日では加速器科学における世界の研究センターの一つとなっている。

この高い研究レベルと研究への意欲・情熱を維持し、更に強化することが重要であり、継続的な人材の育成を図るため、大学の 3・4 年生及び大学院修士課程の学生を対象とした「加速器インターンシップ制度」を実施している。

この制度では、高エネルギー加速器研究機構のつくばキャンパスと東海キャンパスにおいて進行している加速器の開発や運転に大学生及び大学院生 (以下大学生等) という。) を一定期間受け入れ、その研究計画に参加させている。

奨励会ではこの大学生等を受け入れるための財政支援を行う。

(4) レクチャー&コンサート「科学と音楽の饗宴」への助成

「科学と音楽の饗宴」は、地域の文化活動の一環として、つくば市、高エネルギー加速器研究機構が主催する講演と音楽のコラボレーション形式のイベントである。

科学に親しみながらバランスの取れた頭脳の能力向上を目指す企画として平成17年より毎年開催されている。

- ・開催テーマ : 未定
- ・開催日(予定) : 2021年 月 日( )
- ・会場(予定) : つくば市ノバホール
- ・参加費 : 無料
- ・来場者数 : 約800人

## 5. 研究者及び研究グループに対する顕彰事業

### (1) 奨励賞の名称・概要

- ① 西川賞 高エネルギー加速器ならびに加速器利用に関する実験装置の研究において、独創性に優れ、国際的にも評価の高い業績をあげた単数または複数の研究者及び技術者
- ② 小柴賞 素粒子研究などの基礎科学における測定器技術の開発研究において、独創性に優れ、国際的にも評価の高い業績を上げた単数または複数の研究者及び技術者
- ③ 諏訪賞 高エネルギー加速器科学の発展上、長期にわたり顕著な寄与があつたと認められる単数または複数の研究者及び技術者
- ④ 熊谷賞 開発研究、施設建設など長年の活動を通して、高エネルギー加速器や加速器装置への顕著な貢献が認められる企業の加速器関係者

### (2) 奨励賞の内容

賞金は課題毎に各賞30万円とする。

表彰盾は課題毎に授与する

### (3) 表彰件数……………各賞合わせて5件程度

### (4) 選定方法

選考委員会において各賞受賞対象の審査を行い、理事会において決定する。

### (5) 募集期間

2021年4月～2022年2月末

## 6. 加速器科学に関する知識の普及・啓発事業

一般社会に対し、高エネルギー加速器科学に関する知識の普及・啓発活動を行う。

(KEK 一般公開・奨励会ホームページ・奨励会パンフレット・奨励会情報誌(FAS だより)等による)

## 7. 出版物の編集及び刊行事業

高エネルギー加速器科学及び関連技術の研究成果を加速器科学の振興のため、我が国の研究推進を図ることを目的として出版物を発行する。

- ① F A S だより(奨励会情報誌)…………… 賛助会員等に配布 年2回発行
- ② 高エネルギー加速器セミナーテキスト…………… 賛助会員等に配布 年1回発行
- ③ HIGH・ENERGY・NEWS…………… 賛助会員等に配布 年4回発行

## 8. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業を行う。

# 2021年度 収支予算書（損益計算書）

自：2021年4月1日 至：2022年3月31日

（単位：円）

科 目		2021 度予算 (A)	2020 度予算 (B)	増 減 (C = A - B)
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	基本財産受取利息	650,000	710,000	△ 60,000
特定財産運用益	特定財産受取利息	4,000	5,000	△ 1,000
受取会費	受取会費	4,400,000	4,450,000	△ 50,000
事業収益	研修会等事業益	150,000	164,000	△ 14,000
受取寄附金	寄附金等	0	0	0
雑収益	預金受取利息	0	0	0
経常収益計		5,204,000	5,329,000	△ 125,000
(2) 経常費用				
①事業費				
	研究助成費	400,000	500,000	△ 100,000
	国際交流助成費	400,000	500,000	△ 100,000
	国際会議助成費	400,000	500,000	△ 100,000
	その他の助成費	0	0	0
	褒 賞 費	1,475,000	1,580,000	△ 105,000
	研修会等開催費	685,000	832,000	△ 147,000
	出版物頒布費	290,000	318,000	△ 28,000
	印刷製本費	0	0	0
	諸謝金	0	0	0
	給料手当	1,360,000	1,192,000	168,000
	旅費交通費	270,000	319,000	△ 49,000
	通信運搬費	39,000	39,000	0
	消耗品費	10,000	0	10,000
	賃借料	75,000	85,000	△ 10,000
	光熱水料費	24,000	21,000	3,000
	雑費	10,000	25,000	△ 15,000
事業費合計		5,438,000	5,911,000	△ 473,000
②管理費				
	給料手当	1,360,000	1,192,000	168,000
	会議費	47,000	47,000	0
	旅費交通費	214,000	259,000	△ 45,000
	通信運搬費	71,000	54,000	17,000
	什器備品費	0	0	0
	消耗品費	38,000	110,000	△ 72,000
	印刷製本費	0	0	0
	賃借料	75,000	85,000	△ 10,000
	諸謝金	55,000	50,000	5,000
	光熱水料費	24,000	21,000	3,000
	雑費	14,000	24,000	△ 10,000
管理費合計		1,898,000	1,842,000	56,000
経常費用計		7,336,000	7,753,000	△ 417,000
当期経常増減額		△ 2,132,000	△ 2,424,000	292,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
有価証券売却益	有価証券売却益	0	0	0
基本財産評価益	基本公社債評価益	0	0	0
特定資産評価益	特定公社債評価益	0	0	0
経常外収益計		0	0	0
(2) 経常外費用				
有価証券売却損	有価証券売却損	0	0	0
基本財産評価損	基本公社債評価損	0	0	0
特定資産評価損	特定公社債評価損	0	0	0
経常外費用計		0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		△ 2,132,000	△ 2,424,000	292,000
一般正味財産期首残高		110,284,226	112,708,226	△ 2,424,000
一般正味財産期末残高		108,152,226	110,284,226	△ 2,132,000
II 正味財産期末残高		108,152,226	110,284,226	△ 2,132,000

※当期経常増減額△2,132,000円については、特定資産で補填する。

## (公) 高エネルギー－加速器科学研究奨励会賛助会員一覧

2021年4月1日現在

	会 員 名		会 員 名
1	エーザイ (株)	31	日本高周波 (株)
2	S.P. エンジニアリング (株)	32	日本電磁工業 (株)
3	(株) 大阪真空機器製作所	33	(株) 野村鍍金
4	川崎設備工業 (株)	34	浜松ホトニクス (株)
5	(株) 関電工	35	日立金属 (株)
6	金属技研 (株)	36	(株) 日立製作所
7	工藤電機 (株)	37	V A T (株)
8	(株) ケーバック	38	富士通 (株)
9	小池酸素工業 (株)	39	武州ガス (株)
10	神津精機 (株)	40	(有) 双葉工業
11	コカ・コーライーストジャパン (株)	41	(株) マイテック
12	(株) ジェック東理社	42	(株) 前川製作所
13	秀和電気 (株)	43	三菱重工機械システム (株)
14	日本製鉄 (株)	44	三菱電機 (株)
15	セイコー・イージーアンドジー (株)	45	三菱電機システムサービス (株)
16	大陽日酸 (株)		
17	(株) 多摩川電子		
18	ツジ電子 (株)		
19	(株) 電研精機研究所		
20	東京ニュークリアサービス (株)		
21	東芝 エネルギーシステムズ (株)		
22	キヤノン電子管デバイス (株)		
23	(株) トヤマ		
24	豊田通商 (株)		
25	長瀬ランダウア (株)		
26	ニチコン (株)		
27	ニチコン草津 (株)		
28	日新パルス電子 (株)		
29	(株) 日本アクシス		
30	NAT (株)		

## 評 議 員 名 簿

2021年4月1日現在

氏 名	所 属
長島 順清	大阪大学 名誉教授
矢野 安重	公益財団法人仁科記念財団 常務理事
横溝 英明	一般財団法人総合科学研究機構 理事長
佐藤 潔和	東芝エネルギーシステム株式会社 京浜事業所 技術顧問
下村 理	高エネルギー加速器研究機構 名誉教授
大久保光一	三菱重工機械システム株式会社 取締役常務執行役員

任期 平成30年度(2018年度)の最終のものに関する定時評議員会の終結時(令和元年(2019年)年5月14日)から令和4年度(2022年度)の最終のものに関する定時評議員会の終結の時(令和5年(2023年)5月中旬)までとする。

## 評議員選定委員会 委員名簿

2021年4月1日現在

氏 名	所 属
矢野 安重	公益財団法人仁科記念財団 常務理事
木村 嘉孝	高エネルギー加速器研究機構 顧問
平山 英夫	高エネルギー加速器研究機構 名誉教授
袴田 敏一	浜松ホトニクス株式会社 顧問
横山 勝	公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会

任期 2019年5月14日から、2022年度の最終のものに関する定時評議員会の終結の時(2023年5月中旬)までとする。



## 役員（理事）名簿

2021年6月11日

役職	氏名	所属
代表理事	幅 淳二	高エネルギー加速器研究機構 理事
理事	高崎 史彦	高エネルギー加速器研究機構 名誉教授
理事	浅野 克彦	中部大学 工学部 特任教授
理事	杉山 純	(一財) 総合科学研究機構 中性子科学センター サイエンス・コーディネーター
理事	長谷川和男	量子科学技術研究開発機構 六ヶ所核融合研究所 核融合炉材料研究開発部部長
理事	山口 誠哉	高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 シニアフェロー

任期 2020年度の最終のものに関する定時評議員会の終結時（2021年5月27日）から、2022年度の最終のものに関する定時評議員会の終結の時（2023年5月）までとする。

## 役員（監事）名簿

2021年4月1日現在

役職	氏名	所属
監事	木村 嘉孝 ※1	高エネルギー加速器研究機構 顧問
監事	古屋 貴章 ※2	高エネルギー加速器研究機構 名誉教授

※1 任期 平成30年度の最終のものに関する定時評議員会の終結時（2019年5月14日）から2022年度の最終のものに関する定時評議員会の終結の時（2023年5月中旬）までとする。

※2 任期 2019年度の最終のものに関する定時評議員会の終結時（2020年5月22日）から2023年度の最終のものに関する定時評議員会の終結の時（2024年5月中旬）までとする。

## 顧問名簿

2021年6月11日現在

役職	氏名	所属
顧問	神谷 幸秀	高エネルギー加速器研究機構 顧問

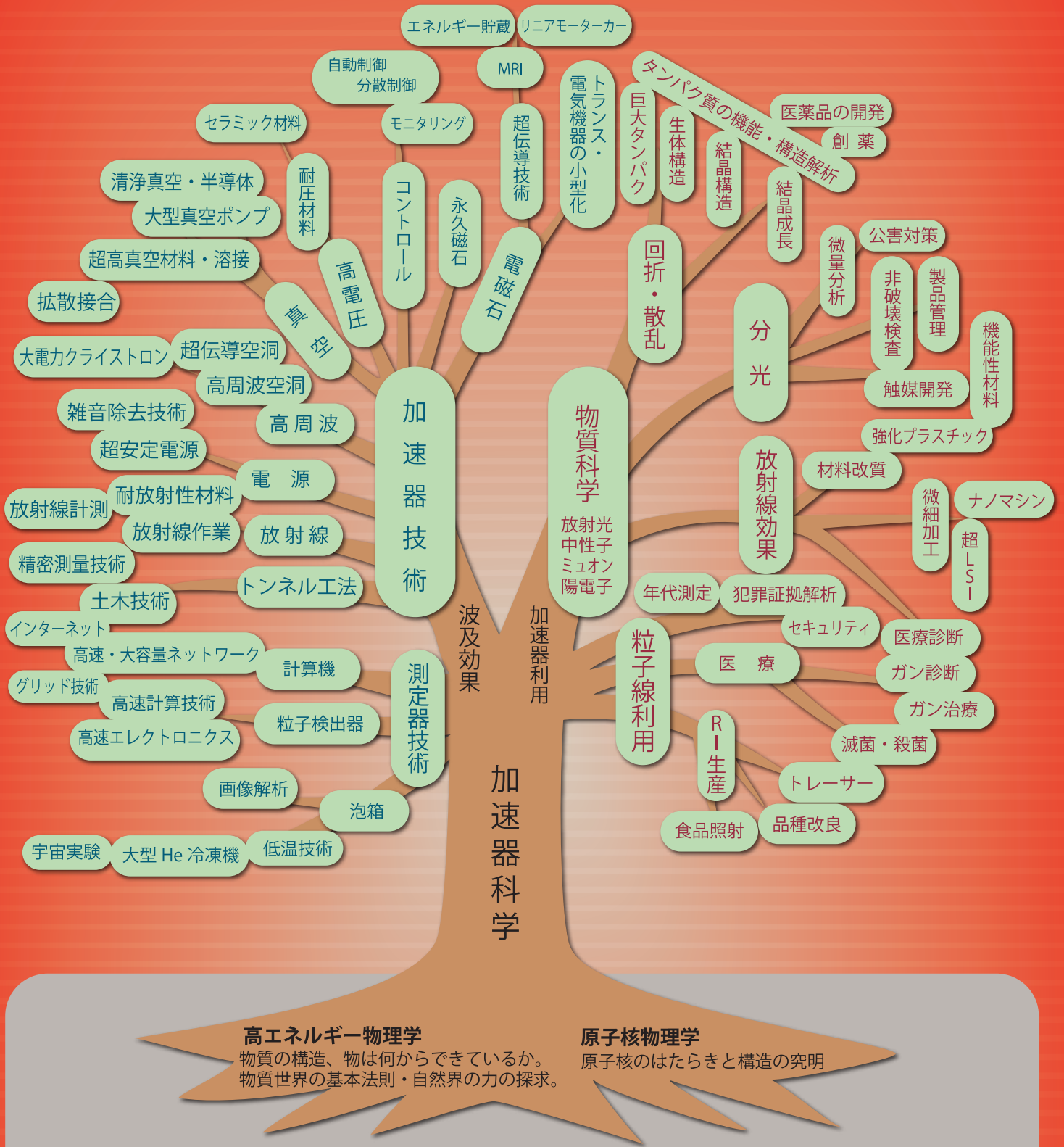
任期 2021年6月より2023年5月までとする。

## 選考委員会 委員名簿

2021年6月11日現在

氏 名	所 属
小関 忠	高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 施設長
上垣外 修一	理化学研究所 仁科加速器研究センター 加速器基盤研究部 部長
山中 卓	大阪大学 大学院理学研究科 教授
中家 剛	京都大学 大学院理学研究科 教授
永江 知文	京都大学 大学院理学研究科 教授
木下 豊彦	公益財団法人高輝度光科学研究センター 利用推進部 部長
神山 崇	高エネルギー加速器研究機構 研究員

任期 2020年4月1日から2023年3月31日までとする。



**高エネルギー物理学**

物質の構造、物は何からできているか。  
物質世界の基本法則・自然界の力の探求。

**原子核物理学**

原子核のはたらきと構造の究明

**物理、化学、生物など全ての基礎科学**

**発行 公益財団法人  
高エネルギー加速器科学研究奨励会**

〒305-0801

つくば市大穂1-1 高エネルギー加速器研究機構内 (職員会館2F)

TEL・FAX : 029-879-0471

E-mail : info@heas.jp

URL : http://www.heas.jp/